

# 日本アダプテッド体育・スポーツ学会 (JASAPE) 会報 第4号

アジア障害者体育・スポーツ学会 (ASAPE) 日本部会

平成20年3月発行

## JASAPE の役割

会長 安井 友康

今年もまた卒業、入学の時期がやってきました。この時期は、多くの新人が組織にフレッシュな風を吹き込む一方、異動や定年にともない職場を去られる方々も多いのではないのでしょうか。このところ、これまで様々な活躍をしてこられた先生方が、現役を退く話をお聞きすることも多くなりましたが、是非これまでの知的財産の蓄積を、我々後輩と社会のために、伝えて続けて行って欲しいと願っています。

さて本学会も、ここ数年、運営体制が大きく変わり、様々な取り組みが始まっています。この2年ほどは、規約の整備や日本学術会議への登録、日本語版会報の発行、役員体制の変更などが続きましたが、とくに今年からは、研究・研修、ASAPE や IFAPA との国際関係の調整、そして学会誌や会報、広報などについて、それぞれ担当の役員を決めて活動を行うという取り組みを始めました。今回の会報も、新しい会報担当メンバーによる第1号ということになります。学会誌とともにより身近でホットな情報提供が行なえるようになるのではないかと期待しています。

また今年、8月に韓国での ASAPE 開催、9月は北京のパラリンピックなど本学会に関係する大きな国際的イベントがあるほか、12月には京都で本学会の担当による合同大会も開かれます。国際担当と広報の連携により、ホームページを活用した情報提供などを行っています。皆様、是非ふるってご参加ください。

ところで学会の役割の一つは、会員の皆様の様々な知見を集約し、社会的な還元や活動に結びつけていくことではないかと思います。近年の高齢化に伴う身体活動に関する課題などとともに、2007年の総会ではインクルーシブな教育場面における体育・スポーツへの取り組みなど、本学会での取り組みが期待されるテーマが提起されました。また今後の取り組みとして、学会誌「障害者スポーツ科学」の一部を電子ジャーナル化し、年間複数回発行を行ってはどうかという意見も出されるなど、様々なアイディアも生まれてきています。これらについては、合同大会の事務局と研究・研修担当、さらに編集担当などが連携しながら、進められることとなります。

今年は、新規約のもと12月の合同大会に向けて役員改選の選挙を行う予定にしておりますが、学会の運営には、会員の皆様一人一人の協力が欠かせません。皆様からのご意見ご感想をお寄せ頂き、より充実した学会の運営に努めていきたいと思っております。今後とも、ご協力をよろしく御願い申し上げます。

## 第 11 回アジア障害者体育・スポーツ学会日本部会 別府大学で開催

標記学術集会は、九州地区で初めて 2007 年 11 月 24-25 日に、別府大学を会場として行われた。大分は日本にパラリンピックを誘致・開催された故中村裕先生が、“保護より機会を”の強い意志の下、社会福祉法人「太陽の家」を設立された地であり、“障害者スポーツ発祥の地から未来に向けたメッセージ”という本大会のテーマはまさにこの地にふさわしいものであった。

学会は国立身体障害者リハビリテーションセンター学院リハビリテーション体育学科同窓会会員によるワークショップで幕を開けた。この同窓会の「リハビリテーションスポーツゲーム集」は PDF ファイルで利用可能である。

<http://www.coara.or.jp/~rsob/rehaspogame.pdf>

ルニュース 週刊

### 「障害者が挑戦できる環境を」 別府大でスポーツ合同大会

障害者スポーツの指導者、研究者が集う「医療体育研究会「日本アダプテッド体育・スポーツ学会」の合同大会が 23 日、別府大学で始まった。二十五日まで。

「障害者スポーツ発祥の地から未来に向けたメッセージ」をテーマに、関係者約五十人が、障害者フットボール、高齢者の健康増進、

シンポジウム  
九州で初の開催  
障害者スポーツの指導者、研究者が集う「医療体育研究会「日本アダプテッド体育・スポーツ学会」の合同大会が 23 日、別府大学で始まった。二十五日まで。



今後の展望について話すパネリスト



“障害者スポーツからインクルーシブスポーツへ”というテーマで基調講演が行われたのは、「太陽の家」現理事長である中村太郎先生であった。障害者だけのスポーツという次元から、“ソーシャルインクルージョン”の次元へのこれからの展開・展望を示されたことは、本学会が直面している現状によく沿うものである。筆者としては“インクルーシブスポーツは難しい”という含みを言外に少し感じたが、障害児・者や高齢者を含むさまざまなひとたちが同じ地域と一緒に暮らしているのが現実の社会だとすれば、やはり inclusion is a human right なのであり、インクルージョンが原初的な状態で、そこから考えていくことが求められているように思う。「太陽の家」を初めて訪れたとき、そこできわめて自然にさまざまなひとたちが当たり前のように生活している様子を見て、筆者は深い感銘を覚えた。インクルーシブな生活が成立することを想えば、インクルーシブスポーツの成否については言わんやではなかろうか。

翌 25 日にはシンポジウムが行われ、また両日を通して、本大会には 168 名の参加があり、35 の一般演題の発表があった。

(資料・写真を提供していただいた、木畑大会実行委員長に感謝します)：岩岡研典

## ○平成19年度 総会報告

日時 平成19年 11月24日

場所 別府大学 講義室414

出席者数 会員28名

1. 6月に日本学術会議の研究協力団体に承認されたことが報告され、学会誌への投稿や、研究活動学、会運営へのさらなる協力が呼びかけられた。
2. 平成18年度総会にて新規約確定と理事の追加があったことにより、20年度に選挙を行うことが承認された。
3. 草野先生の残りの役員任期を長曾我部先生に願う件につき承認された。また長曾我部先生より挨拶があった。
4. 役割分担について以下の案が承認された。

総務・研究・研修：植木 金山 長曾我部 および下村（次期開催地実行委員長）

渉外：西（学術会議担当）、中田（IFAPA）岩岡 柿山（国際）

広報：増田（HP担当） 岡川 寺田 齊藤（会報）

学会誌：山崎 金田

監査：七木田 田中

5. 18年度の決算報告について、承認された。

また財政状況について、登録のみで会費未納入の会員が整理されてきたのに伴い、やや状況が改善してきており、年間約20万円程度の余剰金を残すことが出来るようになったことが報告された。

6. 障害者スポーツ科学編集委員会報告 別途

7. 学術会議連絡担当の西先生から、学術会議の動向について報告された。

また10月に行われた第1回健康・スポーツ委員会に出席した会長の安井から学術会議からの学術連合に関する提案について説明された。政策・社会提言や事務運営における各学会の体力向上についてスケールメリットがあり、今後医療体育研究会や障害者スポーツ学会などの関係する団体に声かけを行いながら連合体作りを模索することについて了承された。

8. その他

今後の学会運営の方針として、発達障害児やインクルーシヴ体育に関する取り組みを行なってはどうかとの提案がなされた。これに関し参加者からも学会としての研究費獲得も視野に入れつつ取り組みを模索してはどうかとの取り組みに対する積極的な提案があった。

また予算規模なども含め300-400人程度の会員数が適当ではないかとの認識から、新規会員の入会について模索することが提案された。

連絡事項として、来年度のASAPEは韓国にて8月8-10日に行われる予定であること、それに先立ちオリンピック・パラリンピックに先駆けて中国にて研究集会在開催される予定であることが報告された。

（前）理事の草野先生よりご挨拶を頂いた。

平成19年度 収支決算報告書

収入内訳

項目	金額
繰越金	1,440,659
年会費	990,000
第8回合同大会余剰金	167,733
バックナンバー	25,040
利子	583
総収入	2,624,015

決算

総収入	2,624,015
総支出	753,467
繰越金	1,870,548

その他

決算(ドル)	
総収入(ドル)	500
総支出(ドル)	0
繰越金(ドル)	500

支出内訳

項目	金額
通信費	31,670
印刷製本	474,000
補助費	200,000
会議費	6,240
消耗品費	15,142
消費税	25,875
振込手数料	540
総支出	753,467

以上

○平成19年度 理事会報告

日時 平成19年 11月24日

場所 別府大学 講義室414

出席者 岩岡、金田、山崎、植木、金山、西、柿山、岡川、齊藤、七木田、坪内、安井（順不同）

（藤田、中田、田中、増田、寺田の各役員から事前に議事内容に関する委任の連絡あり）

理事会では、総会への提案事項の審議ならびに報告があった。

1. 役員任期について
2. 役員の変更について
3. 役割分担について
4. 会計報告
5. 編集委員会報告
6. 学術会議の動向と報告
7. 今後の運営について

以上

○平成19年度 第1回「障害者スポーツ科学」編集委員会議事録

日時：平成19年11月24日（土） 午前11時40分～午前11時55分

場所：別府大学 講義室414

報告事項

1. 「障害者スポーツ科学 第6巻」編集状況について編集委員長から説明があった。

## 審議事項

### 1. 「障害者スポーツ科学 第6巻」目次について

下記の目次とすることが承認された。

表紙裏（編集委員名および所属）

巻頭言（岩岡研典：富山大学）

総説（村木里志：九州大学）

原著

実践研究

資料

雑報（研究室紹介：植木章三，日本体育学会報告：斉藤まゆみ，他）

会則

入会案内（ASAPE と学会）

投稿規定

執筆要項

Instructions to Authors

ASAPE 会則

編集後記、出版社名等

### 2. 雑誌掲載の広告について

各編集委員が広告獲得に努力することとした。

議事録の詳細については、JASAPE ホームページ内 JASAPE 会員用ページをご覧ください。なおパスワード：asapeasape です。

## <今後のおもな予定>

### 第10回ASAPE 韓国（ソウル）

開催日：2008年8月8日（金）～8月10日（日）

大会会場：韓国国立スポーツ大学，ソウル市，韓国

テーマ：Creative Approaching and Practice in Adapted Physical Activity: Rehabilitation, Education, Sports and Inclusion

問い合わせ：asape10@hotmail.com

ホームページ：http://www.2008asape.org/

### 第12回 日本アダプテッド体育・スポーツ学会

#### アジア障害者体育スポーツ学会日本部会（第10回合同大会）

開催日：2008年12月6日（土）～7日（日）

会場：京都女子大学（〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35）

実行委員長より：今回は合同大会としては10回記念大会となります。未来への展望を語り合えるようなテーマ設定を現在検討中です。5月頃には実施要領を会員に配布する予定です。ご参加・ご発表を何卒宜しくお願い申し上げます。実行委員としてご協力いただける方がおられましたら是非ご連絡下さい。

問い合わせ 実行委員長 下村 雅昭 simomurm@kyoto-wu.ac.jp

## <Topic>

藤田紀昭著「障害者スポーツの世界—アダプテッド・スポーツとは何か」

角川学芸出版より 2008年4月発行予定

「<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界」は長野パラリンピック以降スポーツとして理解されるようになった<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの魅力を伝えること。そして、一人でも多くの人にこの世界に足を踏み入れてもらうことを目的として書かれたものです。したがって、この分野で専門に研究を行っている人というよりは、<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツのことがちょっと気になっている人、これから関わってみたいと思っている人を対象に書かれた啓蒙書です。

I部<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界、II部<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツに関わる人々、III部<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの種目紹介の三部構成になっています。

I部<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界では、<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの現状や理念、歴史、代表的な大会の紹介など<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界の概略をわかっていただけのようにしました。

II部<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツに関わる人々では、<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界で活躍する多様な人々、その生き様や選手との交流などを紹介しました。選手やコーチはもとより、今回はクラシファイヤー、チームのマネージャー、養護学校教諭や義肢装具の開発に関わっている人などは幅広い分野の方々に登場していただいています。JASAPEの安井会長にもご登場願いました。

II部の後半には実際に<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツにボランティアとして関わる場合の注意点、<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの指導者資格の取り方や指導者として関わる場合の留意点についてもふれておきました。<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの指導者やボランティアをしたいと考えている方に有効な情報です。大学の授業等でも使いやすいのではないかと思います。

III部「<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの種目」では、パラリンピックで採用されている競技を中心に、ルールの概略、クラス分け、競技観戦のポイントや魅力について述べました。

本書を読んで一人でも多くの方に<sup>アダプテッド</sup>障害者スポーツの世界に関心を持っていただき足を踏み入れていただければと思っています。

## <連絡>

事務局より：Eメールでの連絡を行いたいので、まだアドレスを登録していない方で新規にEメールによる連絡を希望する場合は事務局まで連絡してください。また、Eメールによる情報配信を希望しない方、アドレスを変更した方もその旨ご連絡ください。

※事務局へEメールで連絡される方は JASAPE のホームページの事務局宛メールから送信してください。

### 日本アダプテッド体育・スポーツ学会

アジア障害者体育スポーツ学会 (ASAPE) 日本部会

#### 学会事務局

代表 北海道教育大学 安井友康

住所：068-8642 岩見沢市緑が丘 2-34 北海道教育大学岩見沢校 (安井研究室)

電話/FAX 0126-32-0360 e-mail yasui@iwa.hokkyodai.ac.jp

入会・会費等 北里大学東病院 坪内 友美

ホームページ管理等 弘前大学 増田 貴人

会報担当 岡川 暁、寺田 恭子、齊藤 まゆみ

学会ホームページ <http://home.hiroshima-u.ac.jp/asape/>